

ビオトープの奥、ヒノキ林の道沿い(花の小路)にササユリが咲き始めます。ササユリは比較的日陰が多いような場所でしか生育ができません。また、種から花が咲くまで4~7年程度かかるので、栽培がむずかしいとされています。こちらのササユリは「小笠山森の会」の方々が管理して、育ててくれています。

ユリは外国産のものや、園芸種も多いですが、ササユリやヤマユリのように少し日陰の場所でひっそりと咲くユリは、昔から日本人に好まれていました。万葉集で「ゆり」と詠まれているのは、たいていササユリなんだそうです。



花の小路

花の小路では、ササユリのほかに、春にはチゴユリ、クサナギオゴケ、秋にはホトトギス、セキヤノアキチョウジなど様々な可愛らしい花を楽しむことができます。



チゴユリ



クサナギオゴケ



日本には15種類のユリが自生し、そのうち8種類は日本固有種です。世界中で最も自生ユリに恵まれた国といわれているようですよ!



編集長Mari